

アメリカは民主主義国家ではなく、そのように意図された 国でもない

【Greatchain】

我々の求めるべき文化の形は、見えないものを求めることだから、今アメリカ全土で起きている偶像破壊のようなことは、起こるべくして起きている。暴徒は単なる野蛮人だが、彼らの直観は正しいと言えるだろう。現在のアメリカの、そして本来の欧米の歴史の本質は、民主主義などでないどころか、テロリスト文化、強奪文化、破壊文化、ペドフィリア文化、サタン文化、等々、あらゆるネガティブなものが、高い「文化」であるかのように表れたものである。その悪魔性は9・11テロ一つを見ただけでわかる。また「アメリカ例外主義」という言葉一つにも表れている。

この記事の冒頭にあるリンカン像も、偶像破壊暴徒たちの対象になっていて、BLM 抗議者たちの主張によると、リンカンは確かに奴隷を解放したが、彼は白人至上主義者であり、「公然と反黒人だった」と言っているらしい。その主張がどの程度正しいのかは知らないが、破壊は別として、この偉人に対して柔軟な態度を取るべきだろう。石像に固定化して思考停止状態をつくり出すのは、ダーウィンの固定化と同じで、間違いの元である。今、沢山の銅像や石像がころがっていたり、縄をかけられたりしている。すべて何かの暗示として捉えるべきである。私は暴徒たちに、リンカン像もよいが、それに相向かいに立っている、もっと大きな「ワシントン・モニュメント」という“オペリスク”に注目してもらいたい。それは何を意味するか？ <http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170312.pdf>

THE HILL, by Timothy Snowball

October 29, 2018



アメリカ人の一般的な想像では、アブラハム・リンカンは、歴史的な国家の指導者として立っているだけでなく、民主主義の美徳の偉大な代表者でもある。アメリカ政府を「人民の、人民による、人民のための」ものと説明するとき、彼は、わが国の最も大事にされている理想の一つを明らかにしている。

アメリカ人であることは、民主主義の優秀さ、政治の理想形態として受け入れ、信ずることである。来週起ころうとしている、論争の激しい中間選挙に対して、民主的な行動を勧める人々は、ここでもそれを強調して、よく知られたラリーの言葉を叫んでいる：——「必ず投票に行こう！」「あなたの名前を書こう！」「人民に権力を！」

民主主義の強化を唱える人々の中には、我々のアメリカ的な習慣の廃止を、いくつか求める者さえある。そのような提案には、「選挙人団」(Electoral College)の廃止や、「不人気な」最高裁判官の確認の中止を求めることから、米上院の代表権を平等にしないで、州人口に固定するよう求めることに至るまで、多岐にわたっている。

そのような極端な変化を主張する理由は、問題の制度が、十分に民主主義的でないということにある。結局、大多数の人々の意志に応えることより高い、政治的な価値はないということになる。それでよいか？

いや間違っている。

耳あたりのよいスローガンや、選挙操作のミームや、他の美辞麗句の形態とは反対に、アメリカ合衆国政府が、純粋な民主国家として意図されたことは一度もない。実を言えば、今日の活動家が不満をもつ諸制度のほとんどは、過剰な民主主義の有害な効果を、挫折させるように目論まれたものである。それらは計画的に、反民主的になっている。修正を要求する欠陥どころか、これらの諸制度は、過去も現在も、本質的に、個人的な自由を保障するためのものである。

その形成者たち(Framers)は、その純粋な形では、民主主義は危険なものでありうることを知っていた。建国時代に書かれたものは、その事実の警告に満ちている。

*「真の自由は、民主主義の極端さにあるのではなく、穏当な政治にある」とアレグザンダー・ハミルトンは書いた。「もし我々があまりにも民主主義に傾くならば、我々はやがて君主政体か、他の独裁政治に陥るしかないだろう。」

*トマス・ジェファソンは、「民主主義は暴徒の支配にすぎない。人民の 51 パーセントが、他の 49 パーセントの権利を奪い去るかもしれない」と嘆いて言った。

*ジェイムズ・マディソンは、民主主義は「これまで混乱と言い争いの見世物のようだった。また、個人的な安全と、財産権は両立せず、一般的に、彼らはその死に方が暴力的なことが多く、短命だった」と論じた。

*ジョン・アダムズは、民主主義は「決して長続きしない。それはすぐに息切れし、消耗して自殺する。これまでに、自殺しなかった民主主義というものが、あったためしがない」と結論した。

今日の多くの活動家が、我々に信じさせようとするにも関わらず、アメリカ共和国の反民主的な諸機関は、今日、200 年以上前と全く変わらず生きている。

例えば、「選挙人団」制度は、大統領に選ばれた個人が、人口稠密な両海岸の支持を得るだけでなく、全国を通じて広い支持を得ることを確実にしている。「選挙人団」の機能は、我々の連邦組織の内部で、主権実体としての州を尊重し、代表権を与えることである。

．．．

最後に、最高裁はおそらく中でも最も民主的でない機関である。この裁判所のメンバーは、選挙人団を通じて選ばれた大統領によって、終身指名を受けたもので、いかなる民主的な監視も、選挙も受けることがない。裁判は、訴訟や論争を決定するために、法が要求するところから従って行われ、彼らの個人的な好みや、選挙民の感情や好悪は無視される。

リンカンも、我々の諸制度が、民主主義の過剰を調節し、故意の手加減や、バランス、安定性を確保するのに働く役割を理解していた。彼は 1856 年のスピーチでこう言っている：——「憲法のどんなことにも口を出してはならない。それは守らなければならない。なぜならそれは、我々の自由を保護する唯一の手段だからだ。そして私は、民主党だけに対して、それを訴えているのではない。これらの偉大な真理の原則を愛する、すべての人々に対して言っている。」

民主主義を拡大することを唱える人々は、このリンカンの賢明な警告を覚えておくべきであろう。民主主義をもっと拡大せよという彼らの要求は、純粋な懸念や、「進歩」への理解を求めることから出ているかもしれない。しかし、このアメリカの組織のあまり民主的でない制度を覆したり、これを放棄しようとして、彼らは、我々特有の政治組織への、大きな誤解と、細かい理解のなさを示している。

アメリカ合衆国においては人民が支配する。しかし、それは多数者の横暴から、個人や少数者を保護するように目論まれた、諸制度を通じてのみ働く。その組織は保護し、保存するに値するものである。

——以上